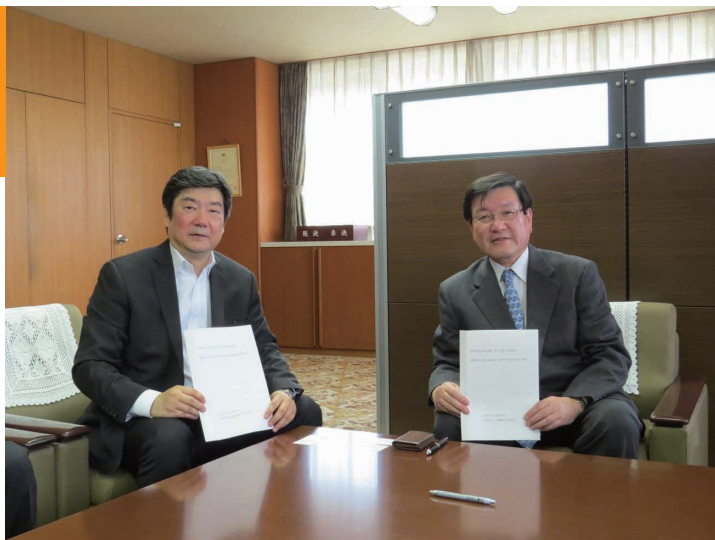


学報

2014年 6 月 Vol.682



連合獣医学研究科と実験動物中央研究所との
教育研究連携協定締結式（5月27日）

応援奨学生決定通知書交付式を実施	1
留学生センターが郡上踊りWORKSHOPを開催	2
English Lounge（イングリッシュラウンジ）今年度第1回目を実施	3
第40回岐阜大学フォーラム「アカデミックリサーチオーガニゼーション（ARO）体制整備の現状と課題 Present state and scope of Academic Research Organization」を開催	4
連合獣医学研究科が実験動物中央研究所と教育研究連携協定を締結	5
表彰受賞者	5
産学連携の実施状況	6
外国人研究者の受け入れ	7
諸会議	7
主要日誌	8
人事異動	《学内限定》9
平成26年度永年勤続者表彰	《学内限定》10

応援奨学生決定通知書交付式を実施

4月8日（火）に、平成26年度岐阜大学応援奨学生19名に対し、決定通知書交付式が行われた。

本学では、創立60周年を契機に立ち上げた岐阜大学基金による事業の一環として、人物及び学業成績において優れ、他の学生の模範となる学生に奨学金を支給することにより、学業を応援し、優れた人材を育成することを目的に、応援奨学生の制度を実施している。

交付式では、森脇学長から通知書が手渡され、「これを機会に、さらに勉学に励み、有意義な学生生活を送ってほしい」と挨拶があった。

応援奨学生を代表して、応用生物科学部の加藤輝雄さんが「奨学金の趣旨を忘れず、学業やその他の活動に励み、充実した大学生活を送りたい」と抱負を述べた。

また、26年度より「応援奨学生取扱要項」が改定され、5月20日（火）開催の教学委員会にて、学部より推薦を受けた6名がさらに応援奨学生として決定され、合計25名の応援奨学生が誕生した。



決定通知書を受け取る鈴木さん



抱負を述べる加藤さん

留学生センターが郡上踊り WORKSHOPを開催

5月14日（水）、留学生センターは、柳戸会館1階集会ホールにおいて、郷土芸能の一つであり国重要無形民俗文化財の指定を受けている"郡上踊り"を学ぶワークショップを開催した。当日は、留学生、日本人学生、教職員50人が参加した。このワークショップは、サマースクール（受入）プログラムや本学との地域連携協定の締結など、いろいろな交流実績がある郡上市との交流促進の一環として実施しているもので、今回で3回目の開催となる。

ワークショップでは、郡上踊りの本場 郡上市郡上八幡博覧館から熊澤里重氏を講師としてお招きし指導いただいた。

ワークショップが始まる前に、留学生達は男女とも、美濃市の国際交流支援グループの"せびあ会"の方々に、好みのゆかたを着付けてもらい、初めて履く下駄で郡上踊りに挑戦した。色とりどりの浴衣を着た留学生達は、各々が写真を撮るなど、踊りが始まる前から大いに盛り上がっていた。

最初に、熊澤講師から郡上踊りの概要について説明があり、その後十曲十種ある郡上踊りの中で、代表的な踊りである"かわさき"と"春駒"の2曲を指導いただいた。

参加者は皆、真剣な表情で講師の説明や動きに合わせて手足を動かしていた。初めての体験と緊張で、最初は踊りの仕草や表情も硬かったが、すぐに慣れ、楽しそうに祭囃子の曲に合わせて踊る姿が見られた。

講師による郡上踊りの名手の選考もあり、3人の留学生が選ばれ、講師から賞品（巾着袋）が手渡された。また、参加者全員に「参加証」が渡された。最後に全員で"かわさき"ポーズの記念写真を撮り、盛況のうちにワークショップを終えた。

いろいろな国から本学に勉強に来ている留学生や日本人学生が、郡上踊りという一つのツールを通じ、つながることを実感できたワークショップであった。



"かわさき"の振付練習



"春駒"の練習



"かわさき"ポーズで記念写真

English Lounge（イングリッシュラウンジ）今年度第1回目を実施

5月19日（月）、岐阜大学内インキュベーション施設エントランスホールにて、平成26年度の第1回目となるEnglish Lounge（イングリッシュラウンジ）が開催された。このEnglish Loungeは、平成17年度に岐阜大学活性化経費（教育）のプロジェクトとして開始し、現在は教育学部英語教育講座教員の全面協力の下、国際戦略本部により運営されているもので、今年で10年という節目を迎える。本学の学生、教職員が自由に英会話を楽しむ場として、長期休業期間等を除き、昼休みを利用して毎月2回行われている。参加者は、毎回用意される1つのトピックについて、4～5人ごとのグループに分かれて英語で意見交換を行う。

今回は、外国人留学生や日本人学生、教職員ら17名が参加し、今回用意されたトピックである“Introduce Yourself（自己紹介）”のもとに、自分の所属や名前、好きなことについて各グループで話し合った。英語のネイティブスピーカーや海外経験の豊かな参加者が、英会話にあまり自信のない参加者からうまく話を引き出すなど、参加者同士がサポートしあう場面も見られ、グループによっては終了時刻に気づかないほどの盛り上がりを見せた。参加者アンケートからは、「普段英語を話す機会がないのでとても良い刺激になった。」「色々な国、職業の人と知り合うことができた。」といった意見があった一方、プログラム内容や運営に関する要望も寄せられた。こうした参加者からの意見・要望を参考としながら、今後もEnglish Loungeのような取り組みを継続的に実施することで、学内における国際交流・異文化理解のきっかけを提供していきたい。

（参考）English Loungeは、平成26年度は全11回を予定している。各トピックは大学ホームページ内で公開中（<http://www.gifu-u.ac.jp/international/link/lounge.html>）



英会話を楽しむ参加者



今回は4グループに分かれて行った

第40回岐阜大学フォーラム「アカデミックリサーチオーガニゼーション(ARO)体制整備
の現状と課題 Present state and scope of Academic Research Organization」を開催

5月20日(火)、本学講堂において、第40回岐阜大学フォーラムを開催し、教職員、学生、一般市民など約130名の参加があった。

森脇学長の挨拶の後、(公財)先端医療振興財団臨床研究情報センター長 兼 研究事業統括で京都大学名誉教授である福島雅典氏が講演を行った。講師の福島氏は、「アカデミックリサーチオーガニゼーション(ARO)体制整備の現状と課題」と題して、ライフサイエンス・イノベーション創出の原理と枠組みや日本が世界最強のイノベーション立国に向けてどうしていくべきかなどを話された。

講演の中では、イノベーション創出のための大学改革の5箇条として、『特許なくしてイノベーションなし。薬事法に基づかずして承認なし。マネジメントなくして開発なし。経済的自立なくして発展なし。グローバル化なくして将来なし。』の項目を述べられ、最後に、『日本版 NIH (NIH: アメリカ国立衛生研究所)』創設成功のためには、ITソリューションが鍵となりますが、まずは、大学・研究機関での研究の一元管理が必要です。一元管理を行うために、各研究室で行われている研究の棚卸しをし、これが全部一元的に管理できるかできないかで、サイエンスが進歩するかどうかが決まります」と聴講者に伝えた。

来場者は講演に熱心に耳を傾け、非常に意義深い内容のフォーラムとなった。



講演する福島氏

連合獣医学研究科が実験動物中央研究所と教育研究連携協定を締結

岐阜大学大学院連合獣医学研究科と公益財団法人実験動物中央研究所は、教育研究に係る連携・協力に関する協定を締結した。

この連携協定は、連合獣医学研究科として5つ目の連携協定となり、研究科の学生は、実験動物中央研究所の客員教員に研究指導を受けることができ、相互の研究交流を促進し、その成果を学術及び科学技術の発展に寄与するものである。

調印式は、5月27日（火）に森脇学長、石黒研究科長及び実験動物中央研究所の野村理事長、伊藤副所長が出席して、学長室にて行われた。調印式後、関係者と動物病院の施設見学や今後の連携・協力方法などについて意見交換を行った。



調印式の様子



記念撮影（左から、伊藤副所長、野村理事長、森脇学長、石黒研究科長）

表彰受賞者

平成25年度一般社団法人廃棄物資源循環学会 論文賞

受賞者：高見澤 一裕 応用生物科学部教授

中村 浩平 応用生物科学部准教授

論文名：Bioethanol production from enzymatically saccharified lawn clippings from a golf course

（ゴルフ場刈芝からの酵素糖化法によるバイオエタノール生産）

受賞日：平成26年5月29日

平成25年度一般社団法人廃棄物資源循環学会 有功賞

受賞者：守富 寛 工学部教授

業績名：炭素繊維強化プラスチックからの炭素繊維の回収法の開発

受賞日：平成26年5月29日

産学連携の実施状況

○共同研究

(平成26年 5 月契約分)

部 局 名	研究代表者	企 業 等 名
教 育 学 部	利 部 伸 三	Meiji Seika ファルマ (株)
医学系研究科	國 貞 隆 弘	ホーユー (株)
工 学 部	板 谷 義 紀	新日鉄住金エンジニアリング (株)
〃	河 瀬 順 洋	(株) プラザーエンタープライズ
〃	〃	(株) ナベヤ
〃	神 原 信 志	(有) 辰巳機工
〃	北 出 幸 夫	塩野義製薬 (株)
〃	倉 内 文 孝	(株) テイコク
〃	小 林 孝 一	馬居化成工業 (株)
〃	櫻 田 修	河合石灰工業 (株)
〃	武 野 明 義	日本合成化学工業 (株)
〃	仲 井 朝 美	(株) AIKI リオテック
〃	藤 原 裕 之	東ソー (株)
〃	守 富 寛	カーボンファイバーリサイクル工業 (株)
〃	王 志 剛	日本パーカラライジング (株)
応用生物科学部	大 場 伸 也	(株) ハイテム
〃	杉 山 誠	共立製薬 (株)
〃	鈴 木 正 嗣	特定非営利活動法人 Wildlife Service Japan
〃	田 中 逸 夫	京扇産業 (株)
〃	西 津 貴 久	太陽化学 (株) 2 件
〃	〃	飛騨高山ファクトリー (有)
〃	矢 部 富 雄	和光堂 (株)
〃	山 本 朱 美	(株) ハイテム
連合創薬医療情報研究科	赤 尾 幸 博	岐阜薬科大学／アピ (株)
複合材料研究センター	三 宅 卓 志	太平洋工業 (株)
生命科学総合研究支援センター	近 江 靖 則	自然科学研究機構分子科学研究所

○受託研究

(平成26年 5 月契約分)

部 局 名	研究代表者	企 業 等 名
医学系研究科	湊 口 信 也	国立大学法人名古屋大学
〃	江 崎 孝 行	フルイドウェアテクノロジーズ (株)
工 学 部	蜷 川 忠 三	三菱重工業 (株) 機械・設備システムドメイン 機械・設備システム調達部
〃	高 羽 浩	大学共同利用機関法人自然科学研究機構
〃	川 崎 晴 久	総務省
〃	武 野 明 義	(株) サイエンス・クリエイト
応用生物科学部	松 井 勤	(独) 農業環境技術研究所
〃	前 澤 重 禮	(社) ぎふクリーン農業研究センター
〃	中 野 浩 平	岐阜県水産研究所
〃	嶋 津 光 鑑	(独) 農業・食品産業技術総合研究機構

連合獣医学研究科	浅井鉄夫	学校法人酪農学園
〃	〃	農林水産省消費・安全局
連合創薬医療情報研究科	赤尾幸博	国立大学法人名古屋大学
〃	桑田一夫	〃
流域圏科学研究センター	栗屋善雄	農林水産省農林水産技術会議
〃	〃	(独) 森林総合研究所
〃	玉川一郎	(独) 水資源機構 長良川河口堰管理所

外国人研究者の受け入れ

受入部局	氏名 (国名)	所属・職名	期 間	研 究 題 目
工 学 部	栄麗 (中国)	西華大学 准教授	26. 5. 15 ~ 26. 8. 29	キャピラリー液体クロマトグラ フィーにおける新規固定相の開発

諸会議

◇ 第443回役員会

5月8日(木)

議 題

1. 職員の功労者表彰について
2. 学外者に対する感謝状の贈呈について
3. 教育職員の人事(医学部:教授1)について
4. 特任教員雇用事前協議について
5. 選択定年制における目標等の裁定について

◇ 第2回授業編成専門委員会

5月12日(月)

議 題

1. 平成26年度非常勤講師採用計画の一部変更等について
2. 平成26年度教育推進・学生支援機構教養教育推進部門推進費(前期分)の配分(案)について
3. 大学以外の教育施設等における学修の単位認定について
4. 平成26年度前学期特別聴講学生等の履修について
5. 平成26年度後学期授業時間割(案)について

◇ 第444回役員会

5月15日(木)

議 題

1. 業務達成基準適用事業に係る達成度等について

◇ 第2回部局長・部長会

5月15日(木)

(連絡事項のみ)

◇ 第2回教学委員会

5月20日(火)

議 題

1. COC 事業「次世代地域リーダー育成プログラム」にかかる地域志向科目群について
2. 学生表彰について
3. 応援奨学生の追加について
4. 平成26年度日本学生支援機構大学院第一種奨学生及び第二種奨学生定期採用の推薦について

◇ 第445回役員会

5月22日(木)

議 題

1. 教育職員の人事（教育学部：准教授または助教 1 名，准教授 1 名）について ◇ 第125回教育研究評議会 5 月22日（木） （報告事項のみ） ◇ 第 2 回入学試験専門委員会 5 月28日（水）	議 題 1. 平成27年度医学部看護学科第 3 年次編入学生募集要項（案）について 2. 地域科学部特別入試（帰国子女を対象とした特別入試）の名称変更（案）について 3. 大学院医学系研究科入学者選抜方法等の一部改正（案）について 4. 大学院応用生物科学研究科入学者選抜方法等の一部改正（案）について
---	--

主要日誌

月 日	行 事 名
5 / 8	第443回役員会
12	第 2 回授業編成専門委員会
14	看護学科・看護学専攻教授会議（医） 教授会・代議員会（工） 教授会（メディア） 郡上踊り WORKSHOP
15	第444回役員会 第 2 回部局長・部長会
18	平成26年度東海・北陸地区国立大学法人等職員採用試験
19	English Lounge（イングリッシュラウンジ）
20	第 2 回教学委員会 研究科委員会（連創） 第40回岐阜大学フォーラム「アカデミックリサーチオーガニゼーション（ARO）体制整備の現状と課題 Present state and scope of Academic Research Organization」
21	教授会・研究科委員会（教・地・応） 医学研究科・医学科教授会議（医）
22	第445回役員会 第125回教育研究評議会
23	代議委員会（連獣）
27	連合獣医学研究科と実験動物中央研究所との教育研究連携協定締結式
28	第 2 回入学試験専門委員会 教授会（流域・生命）